

身の回りの情報の技術を見つけよう

スライド

授業動画

解説動画

学習指導要領



目標

- ・身の回りにある、情報の技術における、技術の最適化について考える。
- ・情報の技術の利用例を調べ、どのような技術が使われているのかを見つける。

評価規準

- 思：情報の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定できている。【レポート】
- 態：自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想している。【振り返り】

学習過程



準備

- 調べ学習レポート「身の回りの情報の技術を見つけよう」
- タブレット等のネットワークに接続できる端末

展開

学習活動

- ・生徒の活動
- ◇教師の働きかけ
- 評価方法

1 身の回りの情報の技術に気付く。 **ポイント①**

- ・情報の技術によって生活や社会がどのように変わったかを考える。

2 課題を把握する。

生活や社会に利用されている情報の技術がどんなところに使われているのか調べよう。

- ・身の回りの情報の技術の例から、**技術の最適化**について考える。
 - ・動画（[NHK for school「テイクテック2.0」](#)）を視聴し、情報の技術の仕組みについて知る。**ポイント②**
- ◇生活を豊かにしている情報の技術について考えさせる。

3 生活や社会の中の情報の技術の例を調べる。 **ポイント③**

- ・生活や社会の中の情報の技術にはどのようなものがあるのかを考える。
- ・社会における情報の技術の利用例について、教科書や参考動画等を基にして考える。（[参考動画URL](#)）



4 調べたことをレポートにまとめる。

- ・見つけた情報の技術について調べ、どのような最適化がされているのかをレポートにまとめる。
- ◇友だちのレポートも参考にさせ、できることが高度化・多様化していることに気付かせる。
- **レポート**（思）

5 振り返り

- ◇情報の技術を利用した製品に込められた技術の仕組みについての気づきを価値付ける。
- **振り返り**（態）

ポイント①

「情報」を積極的に活用することにより、生活や社会は大きく変わってきました。今の情報社会から、人工知能などが活躍する高度な情報社会へと飛躍的な発展を遂げることに伴って、生活や社会で利用されている「情報の技術」から考えさせるようにしましょう。

ポイント②

生徒もスマートフォンやタブレットを使った経験があることが想定されますが、情報の技術をイメージさせるため、目には見えないデジタルのテクノロジーの仕組みを、動画で視聴させるとよいでしょう。



ポイント③

製品の開発にあたっては、利用者と開発者の両方の視点が欠かせません。その中でよりよい方法を選び、願いや要求の実現する最適解について、単元の導入段階である本時において学習するし、生徒が選んだ「情報の技術」について調べる学習を行います。（[参考動画URL](#)）